

広報 あしや

No.1148

平成27年
(2015年)

1月15日号
毎月1日・15日発行

Garden City Ashiya

発行/
芦屋市役所(広報国際交流課)
TEL.0797-31-2121/FAX.0797-38-2152
〒659-8501兵庫県芦屋市精道町7番6号
ホームページ
http://www.city.ashiya.lg.jp/
メールアドレス
info@city.ashiya.lg.jp



震災20周年事業「阪神・淡路大震災を乗り越えて！」を開催
12月23日(火)、ルナ・ホールで、兵庫教育大学大学院・岩井教授
による「大震災から学ぶこころのケア」の講演が行われました。

1.17ひょうごメモリアルウォーク 2015

大震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐことを目的として「1.17ひょうごメモリアルウォーク2015」を次のとおり開催します。ふるってご参加ください。

ウォークコース

- 日時 1月17日(土)午前8時受付・午前8時30分スタート
＜集合場所＞川西運動場(東10kmコース)
- 内容 「HAT神戸」までの約10kmを歩きます。



昨年度のメモリアルウォーク

- その他 上記以外の出発地、5km・15kmコースもあります。(雨天決行)
※神戸市・芦屋市・西宮市に気象警報(暴風・大雨・大雪)が発令された場合は中止となります。

1.17のつどい

- 会場 HAT神戸人と防災未来センター
慰霊のモニュメント前
 - 日時 1月17日(土)午前11時45分～午後0時30分
(献花は午後5時まで)
- ※詳しくは「1.17は忘れないひょうご安全の日公式サイト」をご覧ください。

問い合わせ

ひょうご安全の日推進県民会議事務局
☎078-362-9984/☎078-362-4459・兵庫県復興支援課内

今冬の節電にご協力を

3月31日までの特に平日の午前9時～午後9時までの間は、引き続き節電にご協力をお願いします。
ただし、高齢者のかたやお子さんのいるご家庭などでは、無理のない範囲での取り組みをお願いします。

節電のポイント

- ◆エアコン 暖房は必要なときだけつけよう
室内温度は適温を保とう(目安は20℃)
- ◆テレビ 見ないテレビはこまめに消そう
- ◆照明 点灯時間は短くしよう

問い合わせ 環境課 ☎38-2051

阪神・淡路大震災 芦屋市犠牲者追悼式 1.17祈りと誓い

阪神・淡路大震災から1月17日で20年という節目を迎えるにあたり、「阪神・淡路大震災 芦屋市犠牲者追悼式」ならびに「1.17芦屋市祈りと誓い」を次のとおり行います。

【ご注意】

- ※駐輪場・駐車場はありません。徒歩またはバス等をご利用ください。
- ※供花や供物などは、固く辞退します。 ※献花用のお花はご用意します。

阪神・淡路大震災 芦屋市犠牲者追悼式



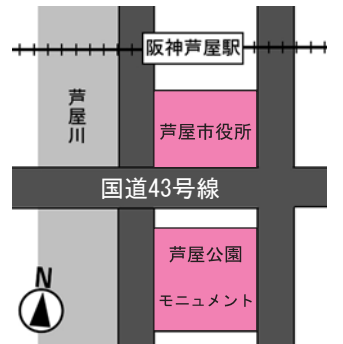
- 日時 1月17日(土)午後2時～4時
 - 会場 ルナ・ホール
- ※一般のかたの受け付けは、午後3時ごろに行います。
ご遺族には、案内状をお送りしています。

問い合わせ 生活援護課 ☎38-2041

1.17芦屋市祈りと誓い

- 日時 1月17日(土)午前7時～午後5時<雨天決行>
 - 会場 芦屋公園
(阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモニュメント前)
- ※上記時間内に、記帳と献花にお越しください。

問い合わせ 市長室 ☎38-2000



寺田遺跡出土「大領(かみ)」「少領(すけ)」等 墨書土器を市指定文化財に指定

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2115

市では、1月15日付で寺田遺跡出土「大領」「少領」等墨書土器を市指定文化財に指定しました。
墨書土器は5点からなり、平成8年度に寺田遺跡(三条南町)で実施された震災復興調査で出土したものです。奈良時代後半(8世紀後半)のもので、「大領」「少領」は古代の摂津国菟原郡(せつつのくにうはらのこほり)の郡司の長官と次官を意味しています。

これらの墨書土器は摂津国菟原郡の郡役所を推定する上で重要であり、芦屋の地が古代の地方行政において重要な役割を果たしたことを証する歴史的遺産として、稀少かつ高い学術的価値を有することから今回の指定となりました。

これらの土器は、美術博物館で開催中の企画展「遺跡が語る芦屋の歴史 土器とき芦屋の物語」で2月8日まで展示しています(要観覧料)。



毎年1月26日は、「文化財防火デー」です

問い合わせ
消防本部予防課 ☎38-2098

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを契機として昭和30年に定められました。
消防本部では、毎年この日を中心に文化財所有者の協力を得て、消防訓練を実施し文化財防火運動を展開しています。

